

4 演劇コラボレーションワークショップ

平成18年6月24日～25日

1 ねらいとその達成状況

事業項目・区分 (現代的課題等)	歴史や芸術などの文化的な事業 主体性, 社会性を育むための体験活動等事業			
事業のねらい (学習要求や必要課題等)	自分の思いをどのように表現すればよいか分からない青年に, 演劇を切り口にお互いに刺激し合う機会を設け, 自己実現するためのきっかけとなるようにする。			
ねらいの達成状況 (参加者の変容等)	普段経験できないようなワークショップ(ヴォイストレーニングやメンタルタフネストレーニング, 日本舞踊など)をとおして, 自己表現能力が向上した。また, 様々な参加者とコラボレートすることで, 新たな自分を発見することができた。			
参加者のアンケート 結果(満足度)	事業全体 運営	100% 100%	プログラム 職員の指導・助言	100% 100%

2 企画・立案

事業の必要性 (理由・背景等)	現代社会では, コミュニケーション能力が未熟な青年や, 心の問題を抱える青年が増加している。そのような現代青年に, 演劇をテーマにしたワークショップをとおして自己表現することを学ぶ機会を提供することにより, 青少年の健全育成に資するために本事業を実施する。																																																		
ニーズの把握状況	群馬県や埼玉県, 栃木県などの高等学校演劇部顧問や周辺の大学の演劇部, 演劇サークルと連携しニーズを把握した。																																																		
ねらいとプログラムの関係	様々な分科会を実施し, 自己表現することの楽しさや喜びを味わわせる。また, 様々な参加者と交流する機会を設けることで, 新しい自分を発見できるようにする。																																																		
主なプログラム (タイムテーブル)	<p>第1日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>プログラム</th> <th>活動内容概略</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:30～13:45</td> <td>開講式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10:45～11:55</td> <td>ワークショップ1</td> <td>分科会～</td> </tr> <tr> <td>13:10～14:20</td> <td>ワークショップ2</td> <td>分科会～</td> </tr> <tr> <td>14:35～15:45</td> <td>ワークショップ3</td> <td>分科会～</td> </tr> <tr> <td>16:00～17:10</td> <td>ワークショップ4</td> <td>分科会～</td> </tr> <tr> <td>18:10～19:30</td> <td>ワークショップ5</td> <td>分科会～</td> </tr> <tr> <td>19:45～20:45</td> <td>ワークショップ6</td> <td>分科会～</td> </tr> <tr> <td>21:00～</td> <td>交流会</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>第2日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>プログラム</th> <th>活動内容概略</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:00～10:00</td> <td>ワークショップ7</td> <td>分科会～</td> </tr> <tr> <td>10:15～11:15</td> <td>ワークショップ8</td> <td>分科会～</td> </tr> <tr> <td>11:30～12:30</td> <td>ワークショップ9</td> <td>分科会～</td> </tr> <tr> <td>13:30～14:30</td> <td>ワークショップ10</td> <td>分科会～</td> </tr> <tr> <td>14:45～15:00</td> <td>ふりかえり・まとめ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15:00～15:15</td> <td>閉講式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><分科会> 演技・演出 即興劇 ジャ舞ing(日本舞踊とジャズの融合) ヴォイストレーニング メンタルタフネストレーニング</p>			時間	プログラム	活動内容概略	10:30～13:45	開講式		10:45～11:55	ワークショップ1	分科会～	13:10～14:20	ワークショップ2	分科会～	14:35～15:45	ワークショップ3	分科会～	16:00～17:10	ワークショップ4	分科会～	18:10～19:30	ワークショップ5	分科会～	19:45～20:45	ワークショップ6	分科会～	21:00～	交流会		時間	プログラム	活動内容概略	9:00～10:00	ワークショップ7	分科会～	10:15～11:15	ワークショップ8	分科会～	11:30～12:30	ワークショップ9	分科会～	13:30～14:30	ワークショップ10	分科会～	14:45～15:00	ふりかえり・まとめ		15:00～15:15	閉講式	
時間	プログラム	活動内容概略																																																	
10:30～13:45	開講式																																																		
10:45～11:55	ワークショップ1	分科会～																																																	
13:10～14:20	ワークショップ2	分科会～																																																	
14:35～15:45	ワークショップ3	分科会～																																																	
16:00～17:10	ワークショップ4	分科会～																																																	
18:10～19:30	ワークショップ5	分科会～																																																	
19:45～20:45	ワークショップ6	分科会～																																																	
21:00～	交流会																																																		
時間	プログラム	活動内容概略																																																	
9:00～10:00	ワークショップ7	分科会～																																																	
10:15～11:15	ワークショップ8	分科会～																																																	
11:30～12:30	ワークショップ9	分科会～																																																	
13:30～14:30	ワークショップ10	分科会～																																																	
14:45～15:00	ふりかえり・まとめ																																																		
15:00～15:15	閉講式																																																		
事業の改善点 (継続事業のみ)	平成18年度からの新規事業のため, 省略。																																																		
企画・立案体制(関係機関・講師との連携等)	企画・立案・運営について, 講師派遣を依頼した日本工学院専門学校のスタッフと連携した。また, 群馬県や埼玉県, 栃木県などの高等学校演劇部顧問と連携し, プログラムの内容の参考とした。																																																		
募集人数の設定基準	参加者がそれぞれの分科会で積極的にかかわれる最大人数を, 講師と相談の上で設定した。																																																		
実施時期の設定理由	研修成果がすぐに地域や学校等での日常の活動に活かせるように, 年度初めに設定した。																																																		

3 参加状況等

募集人数・募集対象	募集人数：50人 募集対象：高校生・大学生・社会人等
参加者数(申込者数)	参加者数：63人(申込65人)
参加者内訳	高校生：41人，学生：4人，社会人：18人 (10代43人，20代7人，30代8人，40代5人)
参加地域	設置道県：52人， 設置道県以外：11人(内訳：栃木県7人，埼玉県2人，東京都1人，茨城県1人)
広報活動	開催要項・チラシの配布及び掲載(関東地区の社会教育施設・都道府県委員会等・青少年教育団体・各種学校・WEB上・新聞・広報誌等)
参加費	4,000円
運営担当者	企画指導専門職：4人 法人ボランティア：8人

4 事業実施

ねらいの周知・方法 (参加者・講師・職員)	参加者には，WEB上でねらいや当日の内容を確認できるようにした。さらに2次案内によりねらい等を周知した。講師と職員とはメールのやりとりや事前の打ち合わせにおいて，ねらいを共有化した。
参加者の学習状況 (学習内容・方法)	ワークショップに参加できるように少人数(10人程度)の班を編制し，それぞれの分科会にローテーションで取り組んだ。「交流会」や「ふりかえり・まとめ」の場面では，全体で共有化した。
日程運営 (スケジュール)	できるだけ多くのワークショップに取り組めるように工夫した。スケジュール的にタイトな面もあったが，参加者は充実感や達成感を味わえた。
学習環境 (施設設備・教材資料等)	参加者がリラックスした状態でワークショップに取り組めるように，各会場に湯茶コーナーを設けた。さらに，情報交換が活発に行われるように交流会を実施した。
健康・安全対策	事前に健康面に関するアンケートを実施し，健康管理の参考とした。
講師・関係機関等との連携 (ボラ等を含む)	参加者のニーズや年齢層に応じた内容となるように，講師を依頼した日本工学院専門学校のスタッフと事前に打ち合わせをし，企画・立案を連携しながら行った。

5 事業実施後の評価や普及

参加者の評価 (アンケートの自由記述等から)	「様々な研修をとおして，新しい自分を見つけることができた。」「スケジュール的に少々ハードであったが，充実した時間を過ごすことができた。」など，研修内容をこれからの生活に活かしたいという記述が多かった。
講師・関係機関等の評価	参加者のモチベーションが高く，研修内容をこれからの日常生活に持ち帰って活用してくれる可能性を強く感じたとの評価を得た。
職員の評価 (企画段階から関わったボラ等を含む)	5人の講師と共通理解を図りながら，充実したワークショップを展開することができた。スケジュール的にタイトな部分もあったが，密度の濃いワークショップに，参加者の満足度も高かった。
事業報告の状況	文教ニュース社や官庁通信社を通して事業内容を発信した。WEB上にも事業報告を公開した。また，所内にも報告の掲示をした。
普及実績 (計画・予定を含む)	参加者である教育関係者や地域の生涯学習関係者から，それぞれの方面での普及が期待される。
事業後の反応 (参加者・普及先等)	参加者から，発声方法や自己表現方法などの研修内容を日常生活で活かすようになったとの声が聞かれた。

6 その他の特記事項(成果等)

<p>本事業はコミュニケーション能力や自己表現力の育成をねらいとして，今年度新たに企画した事業である。そのような力を育成するために，「演劇」を切り口にワークショップ形式で実施した。事業の特色としては，少人数の班をつくり，様々なタイプの分科会にローテーションで取り組んだ点である。演劇に関する様々な内容に触れたことにより，自己理解が進み，自己表現力も向上した。また，様々な所属団体の参加者が集まったことにより，情報交換が進み，ワークショップの中でコラボレートし高め合う場面も見られた。</p> <p>今回の講師：日本工学院専門学校 演技・演出：堀江辰男氏 ジャーキング：渚みちよ氏 ヴォイストレーニング：津野武嗣氏 即興劇：中島文博氏 メンタルタフネストレーニング：大橋瑠介氏</p>
